

愛三グループのマテリアリティ

愛三グループは、VISION2030で掲げる「この手で笑顔の未来を」を実現するために、EVや水素技術をはじめとする技術革新に挑戦し、環境技術No.1企業を目指します。未来の子どもたちに安心と笑顔を届けるため、幅広いテーマの中から事業活動を通じて発生するポジティブ、ネガティブな影響も考慮した4つのマテリアリティを特定し、関連するKPIも設定しました。2023年度の各項目の取り組み実績は下記の通りです。

項目		マテリアリティ(重要課題)	取り組みテーマ	ありたい姿	KPI(指標)		実績(2023年度)	目標(2025年度)		
E	環境	知恵と技術で 循環型社会に貢献	気候変動対応、廃棄物削減、 脱炭素、水素社会技術開発、 多様燃料対応、自然共生	地球規模での環境保護と 持続可能な社会の実現に貢献	カーボンニュートラル	Scope1&2	CO ₂ 排出量	8.6万t-CO ₂	2019年度比▲25%	
						Scope3	CO ₂ 排出量	20.3万t-CO ₂ *	2019年度比▲20%	
					クリーンエネルギー	再エネ	オフセット	+10.2%	+15%	
						創エネ	クレジット	熱マネジメント検証	+1%	
S	人財・風土	イノベーションに 挑戦し続ける人づくりと、 「認め合い、活かし合う」 風土づくり	人財育成、ダイバーシティ、 働き方改革、安全/健康、 DX(ロボット化、IoT対応)、 従業員エンゲージメント	多様な人財が生き生きと 活躍し続ける職場の実現	従業員エンゲージメントスコア		52ポイント	55ポイント		
					女性管理職数		5人	6人		
					海外拠点幹部職数		17人	17人		
					外部認証		くるみん	くるみんプラス		
					人的資本開示項目		3項目	19項目		
					安全健康意識レベル		指標決定	10%アップ		
					労働災害件数		2件	0件		
					メンタル不全者数		9件	12件以下		
					喫煙率		24%	20%		
	社会	地域と共生し 持続的社会に貢献	人権、持続可能な調達、 地域社会との共生	地域や社会から 信頼される会社であり続ける	継続的な社会貢献活動の実施		12件／年	10件以上／年		
					サステナビリティチェック実施率		ガイドライン策定	100%		
					仕入先コンプライアンス違反		0件	0件		
					紛争鉱物確認率		100%	100%		
					重大な法令違反件数		0件	0件		
					従業員の意識レベル(コンプライアンス施策)		3.34	3.79以上		
					ヘルプライン認知度		80%	90%		
G	ガバナンス	信頼される ガバナンス体制の構築	コーポレートガバナンス、 コンプライアンス、 リスクマネジメント、 情報セキュリティ	正確かつ速やかな情報開示 積極的な任意開示 全社リスク評価・管理実行 人命最優先(救助・救援) 地域の復旧に貢献 速やかな生産復旧	オールトヨタセキュリティガイドライン		V8 100%	V8 100%		
					サイバーセキュリティガイドライン Ver2		LV2 100%	LV3 100%		
					開示基準遵守率		100%	100%		
					リスクマネジメント体制確立		本社実施	体制確立		
					大規模自然災害への対応基準の整備と認知100%～自律 ⇒周知徹底と訓練		基準作成	基準運用		
							認知100%	習熟訓練		
					支援物資の備蓄		認知活動	レベルアップ		
							食料更新	更新		
					1週間以内での生産復旧可能な体制の構築と継続的な訓練実施		・実践活動3件 ・予備品在庫見える化横展開 (スロットルボデー)		・生産基幹システム改訂 (中間在庫見える化)	
					バックアップ生産人員確保(多能工化率＝予備作業員確保率)		リスク明確化		100%	

※Scope3は2022年度実績。当社単独かつカテゴリ1～7